

東京CS

しんぶん

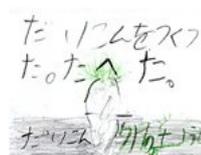
《第15号》

- テーマ「働かざるもの食うべからず」
- テーマ「No More ヒトゴト」
- 舞子スキー合宿2005



■テーマ「働かざるもの食うべからず」
(たつツツー低学年クラス) 2006年2月6日～

■食べ物が私たちの口に届くために、誰がどんなことをしているのか、「人の働き」を追っていきます。■自分でつくった体験を整理。自分でつくったと言っても、野菜を料理して「食べ物」にしているのはお母さん。「ママばっかだな・・・。」と感想がこぼれます。■スーパーで買って来た材料がどこから来ているのか、ヒントを探して商品のパッケージを見てみます。トマトのパッケージには唐津産であること、「私たちが作りました」とトマトを育てた人の写真と名前まで書いてありました。■事前にスーパーの人に野菜が到着する時間（朝6時と昼11時30分）を聞いて、野菜をスーパーに入れるところを見せてもらえることになりました。■知りたかった「保冷車と普通のトラックの見分け方」や、「一度に何キロぐらい野菜が載るのか」などを聞く事ができました。「保冷車の中に閉じ込められたい！」とお願いしたところ、快く閉じ込めてくれました♪■唐津でトマトを育てた人から、JAの人へ、運送会社の人へ、市場の人へ、また別の運送会社の人へ、スーパーの人へ、買い物に来るお母さんへ、そして自分の口の中へとたどりつくというストーリーで、JA唐津市フルティカトマトのことを、その名もずばり「トマトのお話」というお話にまとめました。



■テーマ「No More ヒトゴト (他人事)」
(バンナー中学年・高学年クラス) 2006年2月6日～

■テーマは劇作りからスタートしました。お題目は「うみの十字路口」という、海の魚たちが協力してサメを追い払うお話。寒さなんぞものともせず、屋上で元気に稽古を繰り返しています。■自分たちの演技をビデオで撮影しては、それをチェックして良かったところと改善点をあげていきます。一人一人がどんどん役柄にはまって、キャラクターを磨いていきます。■劇をしてみたの感想と、一つの劇がどのようにして出来ているのか考えました。脚本、演出、監督・・・など劇を作るには、いくつかの要素が必要で、それぞれが協力をし合う必要がありました。■全員で協力して一つの光を反射させる実験をしました。鏡に反射させた文字が正しい形に見えるように逆さ文字を書いたり、鏡を2枚使って、左右が反転しない鏡をつくるなど、鏡を使っているいろと遊んでみました。■虫眼鏡を使って光を集める実験です。広がっていくライトの光も、虫眼鏡で束ねると強い光になることが分かりました。虫眼鏡を2つ使うと、より強い光を集めることができるのでしょうか。■おやっ？いくつかの虫眼鏡をセロテープで束ねて、ものすごく分厚い特殊虫眼鏡をつくったようです。これを使ってライトの光を水に当てたところ、なんと水から湯気がでるほどまで温度があがりました。



■舞子スキー合宿 2005

2006年1月31日～2月2日

■新潟の舞子後樂園スキー場へ2泊3日のスキー合宿へいってきました。この年末年始は、ニュースを見れば毎日のように大雪の話題で、どうなることかと冷や冷やしていましたが、気温も上がりゲレンデは絶好に近いコンディションでした。時間のある限り、スキーと・・・雪遊びと・・・雪と戯れた3日間でした。■初めてのスキーを体験する1年生。最初の30分は辛そうな顔をしていましたが、止まるコツをつかんで、みるみる上達。一日目にして中級コースへ。■3,4年生の子どもたちは、ボーゲンで坂を下っていきます。シュテムターンを意識している子も。■霧はかかっていましたが、舞子後樂園スキー場は、なかなかの絶景も楽しめました。



東京コミュニティスクール Tokyo Community School

〒166-0012東京都杉並区和田3-37-5第5鴨下ビル(1F～4F/屋上)
TEL//03-3313-8717 FAX//03-5305-7234 E-mail//school@tokyocs.org
東京CSしんぶん 編集長//市川 力 編集委員//川口 誠

 <http://tokyocs.org/>